

「わたしとルントウとではどちらがかわいそうか」－反対質問②－

「ディベート・レジュメ用紙」の記述内容－わたし側－

〈立論の要旨〉

- 1 わたしが引っ越すので故郷にはもう戻ってこない。
- 2 P 1 3 2、7行目に「僕は金持ちじゃないよ。」と書いてあるので、彼は貧乏である。
P 1 2 5、6行目に「家の暮らし向きも楽で、わたしは坊っちゃんにいられた。」と書いてあるが、これは過去形になっているので、今は金持ちではない。
- 3 「わたし」は、ルントウとの思い出を大切にしていたのに、ルントウから裏切るようなことを言われたので、「わたし」の方がショックが大きいのではないか。
- 4 ヤンお婆さんのような貧乏人が「がらくた」というほどなので、わたしの持っていた物は相応ながらくたである。

わたし側からルントウ側への反対質問

- 司会 時間です。作戦をやめてください。では、わたし側の反対質問に移ります。時間は8分です。
- 富田(わ) ルントウは、たしかにかわいそうだと思うけれども、村の人もみんなかわいそうだし、仲間もいると思いますが、「わたし」は一人なのでかわいそうだと思います。
- 佐藤(ル) 仲間がいても同じ貧乏だと周りのことまで気を配る心のゆとりがないと思うので一人と同じようなものだと思いますが、どう思いますか。
- 岡(わ) ルントウには、子どもがたくさんいるし、そういった子どもたちにも助けてもらっているの、心の支えがあるのではないですか。
- 布施(ル) 子どもがたくさんいるからと言って、助けてもらえるとは言えないし、反対に、たくさんいるから食費とかが、たくさんかかるのではないですか。
- 野崎(わ) 「わたし」も貧乏じゃないですか。
- 横山(ル) それは、ルントウは「わたし」よりも子たくさんだし、高い税金をとらえていて少ないお金から出しているの、ルントウの方がかわいそうだと思います。
- 富田(わ) 「わたし」はルントウに久しぶりに会ったのに、だんな様と言われてショックを受けたと思うのですが。
- 佐藤(ル) それはルントウと「わたし」の身分の差から起きたもので、「わたし」がルントウにだんな様と呼ばれるよりもルントウは「わたし」にだんな様と言う方がいろいろ・・・
- 岡(わ) 「わたし」は、ルントウ以上に思い出を大切にしてきたと思うので「わたし」の方がショックは大きかったと思います。
- 横山(ル) 母からルントウの名前を聞いたときに忘れていた子どもの頃の様子を思い出したので、友達を思う気持ちは忘れていたんだと思います。
- 高橋(わ) ヤンお婆さんに「わたし」はいろいろ言われて「わたし」はかわいそうだと思います。
- 横山(ル) そのことは、そのことだけでもかわいそうであって、全体を通すとまだ小さいかわいそうという感じになってしまう。
- 岡(わ) ヤンお婆さんが「わたし」のことを金持ちだと思っているので、村の人たちみんなも「わたし」のことを金持ちだと思っていて「わたし」はまわりから偏見の目で見られているのではないですか。
- 木下(ル) 「わたし」から見れば、金持ちではないと思っていても、ヤンお婆さんや村の人から見れば、わたしは金持ちに見えるのではないのでしょうか。
- 岡(わ) では、なぜ、「わたし」が持っていたものを貧乏な人ががらくたと言うのでしょうか。貧乏な人ががらくたと言うのだから、貧乏人が持っているもの以上にがらくたなのではないのでしょうか。
- 司会 時間です。これから、5分間の作戦タイムに入ります。判定員の皆さんは判定表に書き込んでください。